

第 3 学 年 音 楽 科

教科目標

- ① 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てます。
- ② 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにします。
- ③ 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにします。

学習計画

月	単元・題材名	時数	学習活動
4	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ 春の小川	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節を感じ、歌詞や曲想を生かして歌う。 ・ 明るく伸びやかな声で楽しく歌う。 ・ ハ長調の階名唱に慣れ親しむ。 ・ 階名を理解し、ハ長調の階名唱奏に慣れ親しむ。
	○ ひびけ歌声 ・ この山光る ・ ドレミの歌	3	
	○ 楽ふとドレミ ・ キラキラおひさま	1	
5	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ 茶つみ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びや身振りを工夫しながら歌って楽しむ。 ・ 昔から歌い継がれている歌に親しむ。 ・ リコーダーの基本的な演奏の仕方になれる。 ・ リコーダーの美しい響きを味わう。 ・ 簡単なリズム遊びや、旋律づくりを楽しむ。
	○ こんにちはリコーダー ◎ リコーダーは歌う ・ シシシでおはなシ ・ にじ色の風船 ・ なべなべ ・ ゆかいなまきば	6	
	○ リズムにのって ・ まほうのチャチャチャ ◎ まほうのチャチャチャ	4	
6	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ うさぎ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ わらべうたの音階に親しむ。 ・ 季節を感じ、情景を思い浮かべて表現する。 ・ リコーダーの左手 5 音の運指とタンギングの定着。 ・ 旋律やリズム、音の重なりをとらえ、曲想にふさわしい表現を工夫する。 ・ 旋律の特徴をとらえて、表現を工夫する。 ・ 楽器の音色の特徴や、旋律の変化をとらえて聴く。 ・ 各楽器が表している様子や、音楽全体が表している情景を想像しながら聴く。
	○ めざせ楽き名人 ・ かえり道 ・ レッツゴー ソーレー	6	
	○ せんりつと音色 ・ 森の子もり歌 ◎ ユモレスク ◎ 中国のたいこ ◎ 白鳥	5	
10	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ ふじ山	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情景を思い浮かべ、気持ちを込めて表現する。 ・ 曲想を感じて歌い方を工夫する。 ・ 日本や世界の国の歌や遊び歌に親しむ。 ・ それぞれの国の音楽のよさや違いを感じ取る。 ・ 拍の流れにのって、遊んだり歌ったりして楽しむ。
	○ 歌で世界の旅 ◎ アジアの子どもの歌 ・ 大門遊び ・ 雪のおどり ・ レロンレロンシンタ	5	
11	○ にっぽんのうた みんなのうた ・ あの町この町 ・ 七つの子 ・ まっかな秋	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代をこえて長く親しまれている愛唱歌としての音楽の旋律や音色などを味わって聴く。 ・ 拍の流れにのって、旋律やリズムを重ねて楽しむ。 ・ 木琴など打楽器の音やリズムからアフリカの音楽の雰囲気を感じ取る。 ・ 簡単な旋律をつくって、伴奏と重ねて楽しむ。
	○ 音のスケッチ ・ アフリカの音楽であそぼう ・ マンガニ、雨とおどろう	3	

12	○ えんそうのツボ ・ せいじゃの行進 ◎ せいじゃの行進	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ パートの役割を理解し、旋律の流れや音の重なりを生かして演奏する。 ・ リズムを感じながらジャズの曲の雰囲気を楽しむ。
1	○ 音楽のききどころ ◎ 組曲「アルルの女」から	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の音色を味わって聴く。 ・ 旋律の変化や重なりをとらえ、楽曲の面白さを感じ取って聴く。
	○ 音のスケッチ ・ 森のイメージから音楽をつくらう	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鑑賞曲と関連させ、音型等を利用してロンド形式で音楽づくりをする。
2	◎ 森の水車		
	○ めざせ楽き名人 ・ あくびのうた ・ 冬さん、さようなら	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音色に気を付け、互いに音を聴き合って演奏する。 ・ 旋律の掛け合いや重なりをとらえて演奏する。
	○ 物語の音楽を楽しもう ◎ ピーターとおおかみ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の音色や旋律の特徴、速度の変化などを感じ取り、物語の音楽を楽しむ。
3	○ みんなの音楽パーティー ・ パフ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器やパートを選び、声や楽器の音色の組み合わせを工夫して表現する。 ・ 互いに聴き合いながら、友達と表現の工夫をして、アンサンブルを楽しむ。
授業時数の合計		60 時間	

音楽科の評価

観点	評価基準	評価方法
音楽への関心・意欲・態度	進んで音楽にかかわり、音や音楽に対する関心を持ち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習態度 ・ 学習の様子 ・ 歌唱や演奏、音楽づくり、鑑賞中の様子や内容 ・ 音楽ワーク ・ テスト など、総合的に評価します。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっているかどうかという観点から見ます。	
音楽表現の技能	音楽表現をするための基礎的な技能を伸ばし、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくらうしているかどうかという観点から見ます。	
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いているかどうかという観点から見ます。	